

2024年度 現場体験型しごと研究(実習)

主に1・2年生向け 夏季就業体験



現「現場体験型インターンシップ」は2024年4月1日に
名称を「現場体験型しごと研究(実習)」に変更予定です。

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

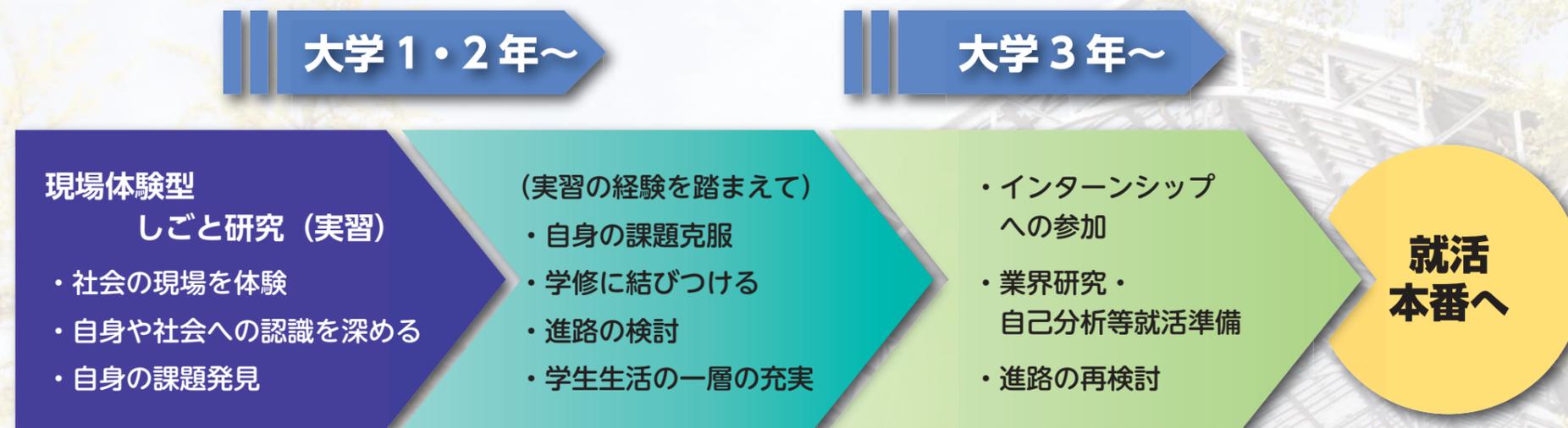
東京都立大学

学生たちが踏み出す社会への第一歩にご協力ください。

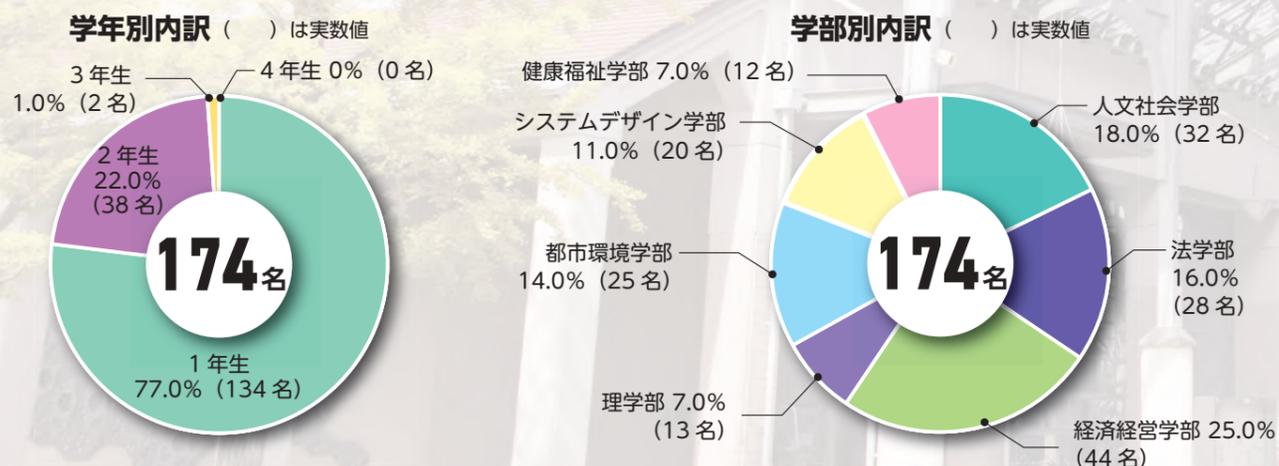
「現場体験型しごと研究（実習）」は、東京都立大学が前身である首都大学東京の開学時から実施している、全学部生が対象となる正課授業のキャリア教育科目です。履修学生の9割以上が1・2年生で構成されている点が特長です。

学生は、大学生活の早い時期から自身の興味・関心のある実習先での現場実習を経験することにより、大都市東京が抱える課題や自分自身の課題について認識を深め、これらの課題に主体的に取り組む能力や社会人として必要な基礎的コミュニケーション能力などを自ら養成することをめざします。

就活へのステップ



履修学生の内訳 [2023年度実績]



令和5年度からインターンシップの取扱いが変わります

文部科学省・厚生労働省・経済産業省の合意による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(3省合意)が改正され、大学生等のキャリア形成支援に係る取組が以下の4つに類型化されました。

- 「インターンシップ」とは称さない
 - ・タイプ1 オープン・カンパニー
 - ・タイプ2 キャリア教育
 - 「インターンシップ」と称して実施
 - ・タイプ3 汎用的能力・専門活用型インターンシップ
 - ・タイプ4 高度専門型インターンシップ(試行)
- ※「現場体験型しごと研究(実習)」はタイプ2に該当します。

この改正により一定の基準を満たすインターンシップで取得した学生情報を、広報・採用選考活動の開始時期以降にそれぞれ使用可能となりましたが、「現場体験型しごと研究(実習)」はタイプ2に該当するため、上記の活動に学生情報を使用することは不可となります。

東京都立大学について

2005年4月に、都立の4大学を統合し、首都大学東京として開学した本学は、教育、研究、社会貢献そして国際化など様々な領域において改革的な努力を重ね、幅広い学問分野を持つ総合大学として着実に発展を遂げてまいりました。

そして2020年4月、技術革新と産業構造の変化、グローバル化等によって社会構造が大きく変化し、高等教育機関に求められる役割が益々大きなものになりつつある中、大学名称を「東京都立大学」へと変更。

現大学名称に変更後も教育・研究力に一層磨きをかけるとともに、その成果をこれまで以上に東京都に還元するなど、世界有数の大都市である東京都が設置する唯一の総合大学として、更なるプレゼンスの向上に取り組んでおります。

学部・学科

人文社会学部	人間社会学科
	人文学科
法学部	法学科
経済経営学部	経済経営学科
理学部	数理科学科
	物理学科
	化学科
	生命科学科
都市環境学部	地理環境学科
	都市基盤環境学科
	建築学科
	環境応用化学科
	観光科学科
	都市政策科学科
システムデザイン学部	情報科学科
	電子情報システム工学科
	機械システム工学科
	航空宇宙システム工学科
	インダストリアルアート学科
健康福祉学部	看護学科
	理学療法学科
	作業療法学科
	放射線学科

プログラム内容



履修学生の声

[2023年度アンケートより]

◆実習に行く前は、実際に市役所で行われている業務について明確なイメージがありませんでしたが、この実習を通して、市役所での仕事がどのようなものなのかを身をもって知ることができました。
【昭島市・法学部1年】

◆自分の想像をはるかに超えた、充実している手助けと子ども同士の対等な関わり合いがあり、だからこそ世間で話題になってしまう一部の劣悪な教育環境をどう改善していけばよいのかを考えるスタートとなりました。実習としての充実度や将来について考える機会としては期待以上で、本当に履修してよかったと感じています。
【国立市・人文社会学部1年】

◆人生観を揺るがすような感動ができ、社会や人生に対する希望を持たたという点では、期待をはるかに超える経験ができたと感じています。心の底から楽しみながら、学ぶことができました。
【株式会社ウチダシステムズ・理学部1年】

◆大学1年生という早い段階で、実際に社会で行われている、相手に伝えるための工夫を知ることができたことはとても有意義でした。また、協会の方全員が自身の仕事に誇りを持って働かれていることが伝わってきて、私も自分がこれから大学で学ぶことや行っていく研究にも世界を変える力があり、世界をよりよくできるのだという自負心を持って、強い向上心のもと勉学に励みたいと強く感じました。
【公益財団法人東京防災救急協会・理学部1年】



実習レポート

※履修学生の所属学部・学科・コース名は履修当時のものです。

市民の安全を守るために様々な工夫を行っていることを学ぶことができました

実習先 東京都建設局 江東治水事務所

実習では、水門などの工事には土木、建築、電気、機械の分野が関わっており行程を合わせることが重要であることを知ることができました。また、災害対策として水門管理センターと各水門間が複数のネットワークで繋がれていること、水門の機能停止を防ぐために非常用発電機やバッテリーなど最悪の事態を想定した準備がされていることを学びました。実習を通して一つの分野だけを学ぶのではなく様々な分野のことも学ぶことが重要だと学び、今後の履修において役に立つと考えとともに、自分の興味ある分野に関する工事の施工、管理側の業務について知ることができ、今後自分が将来どのような立場になりたいかを考えることに役立つと思います。

(都市環境学部 都市基盤環境学部 1年)



1日目	所長挨拶、事務所概要説明、現場監督及び調査業務に同行
2日目	事業説明、現場点検立合、現場調査に同行
3日目	概要説明、現場調査に同行
4日目	事業説明、現場調査に同行
5日目	成果報告会

自分が魅力を感じていた職業のことを詳しく知って、目指したい気持ちがより強くなりました

実習先 東京都総務局 総務部文書課

公務員を目指していて、仕事内容や職場の環境について知っておきたいと思い実習先を選びました。実習では、同じ公務員でも、東京都の職員は大規模な事業に関わっていて住民と直接的な接点が少ない一方で、特別区の職員は住民との距離の近さを実感しながら働いていると知りました。政策法務の仕事は、法学部で学んだ法の解釈と適用を実際に使っていて、自分が大学で学習したことを就職してから活かすことができると知る良い機会になりました。今後、大学の授業で学習することに対して実際の仕事ではこんな風に使われるのではないかと想像しながら取り組めるのではないかと思います。

(法学部 法学科 1年)



1日目	ガイダンス、東京都報の編集・校正作業の補助と都民情報ルーム等の見学
2日目	公印押印・照合の補助、起案文書作成体験
3日目	政策法務の講義、事例検討
4日目	配送センターの文書配送業務
5日目	法規の講義、告示審査等の解説と実践、若手職員との意見交換会など

自分がやりたいことにどんどん挑戦しようと思えるようになりました

実習先 新宿区環境清掃部 ごみ減量リサイクル課

大学の授業で学んでいる内容を実際の現場で体験し、学びを深め、自分の将来の選択肢の一つにしたいと「現場体験型インターンシップ」を履修しました。なかでも基礎自治体は地域の方々と距離が近く、第一線で仕事ができることが利点だと思い、フィールドワークを通して新宿区の良さや課題を直に感じたいと実習先を選びました。実習では、特別地方公共団体の担う役割を学び、区役所での仕事は必ず法律や条例に則ったものであることや、区の人材に必要な能力などを教わりました。実習前は新しい環境に飛び込むことに不安を感じていましたが、実習を通して就活に対する漠然とした不安が消え、今後は自分がやりたいことにどんどん挑戦しようと思えるようになりました。

(都市環境学部 都市政策科学科 2年)



1日目	ガイダンス、ごみ減量絵画展準備作業
2日目	ごみ減量絵画展準備作業、シネシティ広場清掃
3日目	ごみ減量絵画展準備作業
4日目	ごみ減量絵画展準備作業、新宿リサイクル活動センター見学
5日目	ごみ減量絵画展準備作業
6日目	ごみ減量絵画展準備作業

自身の将来を考える絶好の機会であり、大満足の実習でした

実習先 東京都主税局 千代田都税事務所

主税局の職務では特に、責任と信頼が求められるということを知りました。実習で体験した、実務で使用する様々な書類の記入では、記入する書類の枚数や項目が極めて多かったことが印象的で、それだけ丁寧な業務・調査が求められているのだとわかり、この丁寧な業務体制が都税の確実な賦課・徴収に寄与し、また都民からの信頼へとつながっているのだと学びました。「公務員」というとゼネラリストとしてのイメージが実習前は強かったのですが、主税局での業務は各課や部署ごとに求められる知識や技術に大きな違いがあり、各々が習得すべき専門知識があることを学んだため、スペシャリストとしての責任や信頼が特に伴うことも理解でき、社会人として積極的に学ぶ姿勢を見習い、自身が就職した際に生かしていきたいと考えました。

(法学部 法学科 1年)



1日目	概要説明、個人情報保護、課題説明
2日目	事業税課・法人事業税課：概要説明、各種書類記入体験、入力処理体験
3日目	固定資産税課：土地評価・認定現地調査、家屋評価実地調査など
4日目	徴収課：滞納整理事務の講義、臨店差押・公売実務実習（模擬）
5日目	事業税課：講義 各課担当職員との懇談会 所長講話 グループ討議

社会的責任を果たすには、人や部署の連携が不可欠だと学びました

実習先 多摩都市モノレール株式会社 総務部事業課、運輸部運輸課駅務管理所

制服を着用しての駅窓口対応や、切符回収、券売機のおつり補充といった駅係員業務のほか、車庫点検・修理の見学、貸し切りイベント列車の準備などを体験。身近な交通機関が多くの人々の努力によって安全運行されている、そのおかげで不自由のない生活を送れていることを実感することができました。企業現場に身を置いた経験は、経営学を学ぶうえでのモチベーションアップにもつながりました。いろいろな部署、業務、スタッフがうまく連携してこそ、仕事がスムーズに進むのだということを忘れずにいたいと思います。

(都市教養学部 経営学系 (現：経済経営学部 経済経営学科) 1年)



1日目	駅務実習（旅客案内や収入金回収作業、巡回業務等）
2日目	駅務実習（旅客案内や収入金回収作業、巡回業務等）
3日目	施設見学及び安全運行に関わる保全業務等
4日目	施設見学及び安全運行に関わる保全業務等
5日目	イベント列車の設営

新聞業界への理解がより深まる、有意義な実習でした

実習先 一般社団法人日本新聞協会 総務部

新聞業界が志望業界の一つであるため、新聞記者として働くキャリア像を明確にしたいという思いで実習先を選びました。実習先では主にメディアリテラシーについて教わる機会が多く、自分のネット運用を見直す機会になったとともに、SNSとは異なり多様な情報を提供しているということに新聞の強みを感じました。新聞業界の業務の一部に関わることができ、記事作成では想像とのギャップを縮めることができました。また、スーツを着て電車に乗り、午前9時から午後5時まで働く社会人としての経験も積むことが出来ました。当初はあまり多くの業務に携わることが出来ないと考えていましたが、取引先との会議から収蔵庫での資料整理まで幅広い業務に携わることができ、本当に有意義な実習でした。

(法学部 法学科 2年)



1日目	企画開発部企画開発担当：新聞 PRのための情報発信など
2日目	新聞教育文化部 NIE 担当・広告部広告担当：会議資料の作成など
3日目	出版広報部出版広報担当：機関紙の編集、取材など
4日目	ニューズパーク：イベントの来館者対応ほか運営事務
5日目	ニューズパーク：イベントの来館者対応ほか運営事務

現場体験型しごと研究 (実習)

実習受入団体

(2023年度に学生の受入れを予定していただいた団体)



●東京都 (10 実習先・46 部署・定員 86 名)

総務局、主税局、都市整備局、環境局、福祉局、建設局、交通局、水道局、下水道局、教育庁 (特別支援学校)

●特別区 (9 実習先・20 部署・定員 32 名)

新宿区、台東区、(公財)江東区文化コミュニティ財団、品川区、目黒区、(社福)目黒区社会福祉事業団、北区、練馬区、江戸川区

●市 (8 実習先・28 部署・定員 44 名)

武蔵野市、青梅市、昭島市、調布市、小金井市、日野市、国立市、羽村市

●東京都の関係団体 (16 実習先・36 部署・定員 70 名)

(公財)東京都人権啓発センター、(公財)東京税務協会、(公財)東京都歴史文化財団、(公財)東京都交響楽団、(公財)東京都スポーツ文化事業団、東京都住宅供給公社 (JKK 東京)、(地独)東京都立病院機構、(公財)東京都福祉保健財団、(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター、(公財)東京しごと財団、(公財)東京都農林水産振興財団、(公財)東京動物園協会、(公財)東京都公園協会、(公財)東京都道路整備保全公社、(公財)東京防災救急協会

●企業・その他法人 (66 実習先・71 部署・定員 218 名)

(株)ウチダシステムズ、(株)AHB、(株)クオリティ・オブ・ライフ、(株)サカイ引越センター、(株)ジェイ・ブロード、(株)四季リゾート、(株)セレスポ、(株)タウンニュース社、東京港埠頭(株)、(株)東京サマーランド、東京都競馬(株)、(一財)日本ユースホステル協会、(株)パソナグループ、(株)パフ、ぴあ(株)、(株)MAKERS、(株)メディアハウスホールディングス、ヤオキン商事(株)、リゾートトラスト(株)、(株)ジェピコ、(株)シモジマ、タキヒヨー(株)、(株)アビリカ、(株)イシダ、(株)内田洋行、(株)オカムラ、(株)カネコ、京セラ(株)、プレス工業(株)、三谷産業(株)、ヨシモトポール(株)、リオン(株)、(株)オムテック、極東興和(株)、栗本建設工業(株)、高松建設(株)、大末建設(株)、(株)日本構造橋梁研究所、ファーストコーポレーション(株)、メトロ設計(株)、(株)リンク・トラスト、神奈川中央交通(株)、東京水道(株)、アールシーソリューション(株)、(株)キュービック、(株)クレッシェンド、JTP (株)、セコムトラストシステムズ(株)、東京コンピュータサービス(株)、ナビオコンピュータ(株)、(株)日本トータル・システム、(株)マン・マシンインターフェース、(株)モーデック、(社福)シルヴァーウィング、東電ハミングワーク(株)、(一社)ぱうず、堀江車輻電装(株)、PT 有限会社リハビリ道場、(特非)エヌピーオー・フュージョン長池、(特非)国際自然大学校、(特非)東京コミュニティスクール、(社福)東香会、(一社)まちやま、(特非)留学協会、(株)日刊工業新聞社、(一社)日本新聞協会

現場体験型しごと研究 (実習) を履修した学生たちの学びの鍵となるのは、なんといっても夏季の実習体験そのもの。おかげさまで本プログラムを開始した 2005 年以降、のべ 1,700 を超える団体の皆さまにご協力を賜り、8,000 名を超える学生たちが、社会に踏み出す第一歩として貴重な体験をさせていただいております。

ぜひ東京都立大学の現場体験型しごと研究 (実習) へのご協力を賜りますようお願いいたします。

実習先様の声 (2023 年度アンケートより)

東京都建設局 江東治水事務所

当事務所の事業に高い関心を持っていらっしまったこともあり、ご本人も目的意識を持って参加し、説明の聴取や質問などを通じて理解を深められたと感じた。

東京都主税局

5 日間という短い期間だったにもかかわらず、多くのことを学習し、また発表にてきちんとアウトプットもできていた。双方有意義な実習だったと感じている。

公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区東大島文化センター

インターンシップの目的を理解し、様々なことを吸収しようという意欲を持って参加いただいていることが感じられました。5 日間、気持ちが途切れることなく、真面目に取り組んでいただけました。

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 駒沢オリンピック公園総合運動場

将来のキャリア形成や、今積むべき人生経験などについて真剣に考えているのだからということがヒシヒシと伝わってきました。

公益財団法人東京防災救急協会 立川防災館

指令室やハイパーレスキュー隊の見学の際に、「自分一人のために何人もの方が準備をしてくれ、動いていただき、本当にありがとうございます。」と言っていました。身の回りの方々へ感謝の気持ちを忘れない素晴らしい学生さんだと感じました。

株式会社タウンニュース社

コミュニケーション力が高く、就職活動に向けて意欲的に情報収集している印象だった。社員に対しても、自ら進んで質問する姿が目立った。

メディアハウスホールディングス株式会社

他の参加学生がみな大学 3 年生の中、臆せずすべてのプログラムに前向きに参加くださったこと、しっかりと周りとのコミュニケーションをとりながらワークを進められていた点が非常に素晴らしかったです。

1 学生の受入れについて

以下の事項に基づいた学生の受入れにご協力いただきますようお願いいたします。

受入時期	本学夏季休業期間 [予定] 2024年8月13日(火)~9月13日(金)
対象学年	主に1・2年生を対象としたプログラムのため、履修学生のほとんどが1・2年生となります。 ※3年生限定としていただくことも可能ですが、長期的なキャリア教育にご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
実習日数・時間数	5~10日間(連続する日程でなくても可能です)。 土・日・祝日の受入れも可能です。 受入時間は、休憩時間を含め合計40時間以上(1日あたり5~8時間程度)となるようご調整をお願いします。
場 所	原則、東京都内、またはその近郊となるようご配慮ください。
報酬・日当	不要です。
交通費・食事代	原則、学生の自己負担となります。
保 険	受入期間中(通勤及び実習中)に発生した事故等に備え、全ての学生が「傷害保険」及び「賠償責任保険」に加入いたします。

2 学生の受入れに際しての依頼事項

学生の受入れに際しまして、以下の事項にご協力いただきますよう、お願いいたします。

事前申合せ	受入学生数や実習内容等について、事前(1~7月)に申合せをさせていただきます。詳細は、次ページ「実施フロー」をご確認ください。
協定書(覚書)の締結	受入学生決定後、協定書(覚書)を締結いたします。なお、各団体様で指定の様式がある場合には本学指定の協定書と合わせて2種の締結をお願いいたします。
実習所見票の提出	実習終了後(8月下旬~9月下旬)、学生に関する所見票等の作成・提出をお願いします。
学生情報の取扱い	現場体験型しごと研究(実習)はタイプ2キャリア教育に該当するため、受入学生の個人情報を採用活動に利用することは不可となります。

3 受入学生の決定について

1. 本学へご提出いただく「実習内容調査書」に基づき、学生を募集します。
2. 本学にて学生を選考のうえ、6月中~下旬頃に報告いたします。

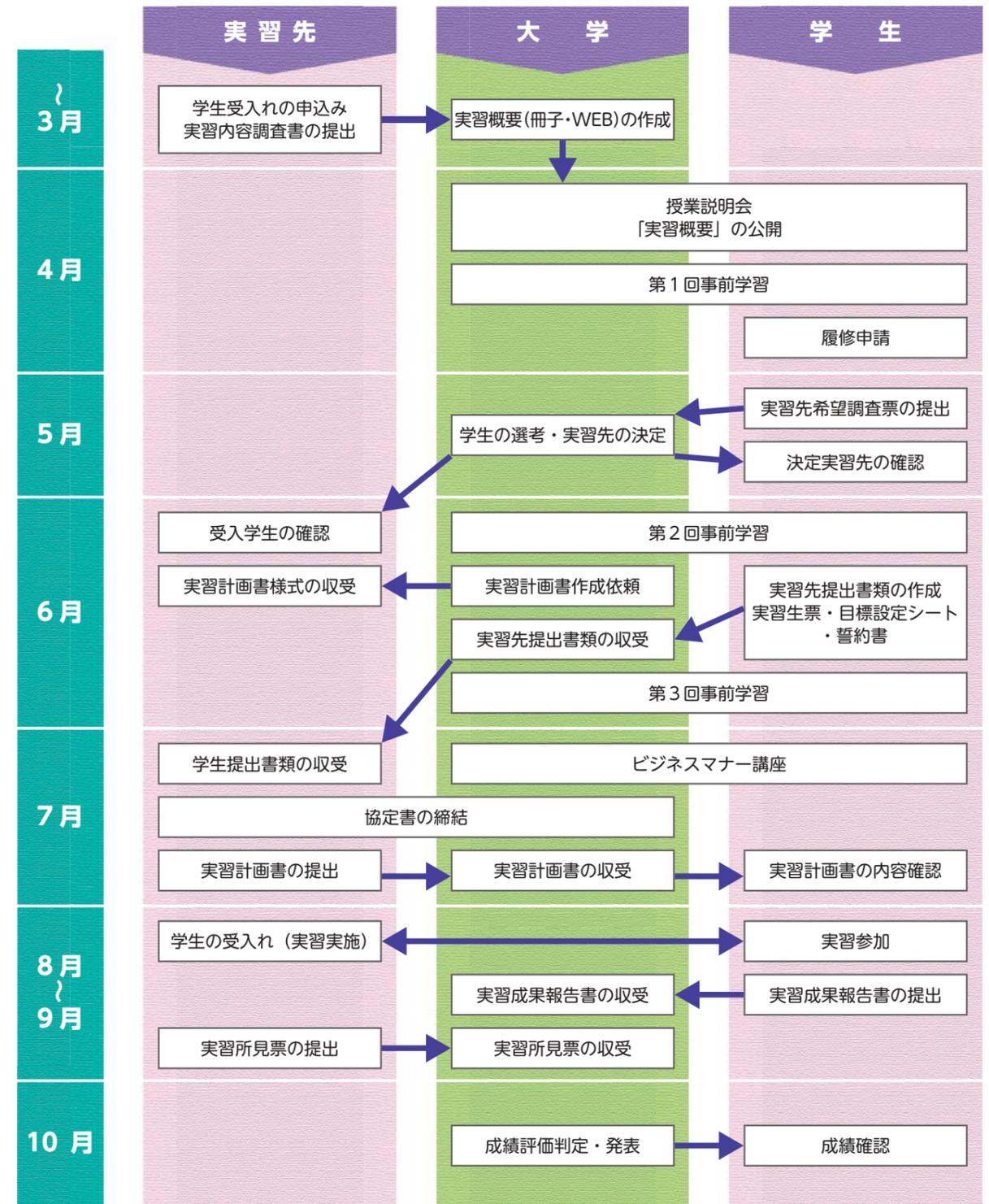
※受入学生の学年、所属学部、専門分野等の指定を希望される場合は、実習内容調査書にご記入ください。ただし、性別や国籍等での指定はご遠慮いただきますようお願いいたします。

※学生が定員に満たない、または0名の場合もあります。ご承知おきください。

4 現場体験型しごと研究(実習)実施フロー

当プログラムは以下のような流れで進行します。

なお、状況に応じて変更等が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



現場体験型しごと研究（実習）Q & A

Q1 学生の募集条件の設定について

実習内容により、所属学部〔学科・コース〕、学年〔学部生のみ〕、専門分野等の指定は可能です。指定する場合には学生とのミスマッチを避けるため、実習内容調査書に条件をご記入くださいますようお願いいたします。

※当プログラムの履修学生は主に1・2年生となります。ご承知おきください。

Q2 実習期間・日数・時間について

本学が指定する期間内にて**5～10日間（40時間以上）**の実習期間、日数を設定していただきます。設定期間内であれば、連続する5～10日間でなくても可能です。詳細は、P.9「**1** 学生の受入れについて」をご確認ください。

Q3 学生の交通費・食事代・報酬について

実習にかかる交通費、食事代等の費用は全て学生の自己負担となります。また、当プログラムは正課授業科目として実施しているため、報酬は不要です。

Q4 実習の実施形態について

対面での実習が困難な場合につきましては、オンライン実習としていただくことも可能です。詳細は、本学担当までご確認ください。

Q5 学生の保険加入について

当プログラムでは、全ての学生に「傷害保険」及び「賠償責任保険」への加入を義務付けています。

Q6 既存の就業体験への組入れについて

当プログラムの目的とP.9に記載の事項を満たすことができる場合には、各団体様で既に実施の就業体験に組み入れていただくことも可能です。詳細は、本学担当までご確認ください。

● 現場体験型しごと研究（実習） お問合せ先

東京都立大学管理部 キャリア支援課 インターンシップ担当

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1 南大沢キャンパス 7号館 1階

電話：042-677-1342【直通】

E-mail：internship@jmj.tmu.ac.jp URL：https://career.tmu.ac.jp/internship/